



10月5日(月)



災害時における物資の供給に関する協定締結
《市長応接室》

大規模災害時に、避難所などにおけるプライバシーの保護や新型コロナウイルス感染拡大予防のための「避難所用発泡スチロール製パーティション」について、株式会社木村鋳造所様と協定を締結し、市からの要請に基づき供給していただくこととなりました。

10月1日(休)



三島市民文化会館 リニューアルオープン
《三島市民文化会館》

改修工事のため休館していました三島市民文化会館が、10月1日(休)にリニューアルオープンし、セレモニーが行われました。文化の継承・創造の拠点をめざしてリニューアルした三島市民文化会館にぜひお越しください。

市民活動団体
応援コーナー

このコーナーは、毎月1日号で、市内で活動する皆さんの主催するイベントや会員募集を紹介するものです。

掲載申込みの詳細は、市ホームページをご覧ください。

☎広報情報課 ☎983・2620

三島市 市民活動団体応援 検索

文部科学省 自然体験活動推進事業
チャレンジ チェンジ ガールスカウト
冬の公園でポイントラリー&野外でマシュマロを使ったおやつ作りをしませんか。☎12月6日(日)午前9時30分～正午
※雨天中止 ☎清住緑地公園、丸池公園、白道保育園 ☎無料 ☎小・中学生 ※小学3年生以下は保護者同伴 ☎30人 ☎ ☎11月29日(日)までにガールスカウト静岡県第93団 ☎gs.shizuoka93@gmail.com

税理士による無料税務相談の開設

☎11月11日(休)、18日(休)午後1時～3時
※要予約 ☎東海税理士会三島支部総務指導所(大宮町) ☎ ☎東海税理士会三島支部 ☎972・1668(午前10時～午後3時)

オンライン「心のままアート展 2020」

今年のアート展はホームページにて開催します。https://kokoronomama.wixsite.com/iroin-art ☎11月1日(日)から ☎沼津特別支援学校・支援学級の在校生やOB、ぼくの色(色員)などの作品展 ☎無料 ☎障害者のしごとを考える母の会・沼田 ☎kokoronomama.art@gmail.com

愛と平和をうたう夢の

Duet Concert in Mishima

☎11月25日(水)開場午後1時、開演午後2時 ☎市民文化センター ☎ ▶出演：オクサーナステパニユックさん、秋川雅史さん ▶曲目：小さな空、からまつ、千の風になって他 ☎一般：5,000円(前売り3,500円) ※チケット取扱い ▶やまがた楽器店 ▶三島市民文化センター ☎柴原 ☎090・3533・3326

～ミニバスケットボール体験会～
WINDS ミニバス

☎11月21日(土)、28日(土)午前9時30分～11時30分 ☎北小学校体育館 ☎小学1年～5年生 ☎無料 ☎体育館シューズ、タオル、飲み物 ☎ ☎winds.mbbc.mishima@gmail.com ☎後藤 ☎986・3872
※随時、体験・見学募集中

静岡いのちの電話

電話相談員募集について

23歳～おおむね65歳の人を対象に相談員を募集します ☎ ▶基礎研修：令和3年4月～令和4年3月 ▶インターン研修：令和4年4月～9月 ☎ ▶基礎研修2万円(別途宿泊研修2万円) ▶インターン研修1万円 ☎ ☎12月1日(火)～令和3年2月8日(月)までに静岡いのちの電話事務局 ☎054・272・4344(平日：正午～午後5時)

歴史の小箱

No.390

地域に残された災害の記録
関東大震災

今回は企画展「三島を襲った災害と復興」にちなんで、関東大震災について紹介します。

郷土資料館 ☎ 971・8228

楽寿園内の郷土資料館では、企画展「三島を襲った災害と復興」を開催中！11月は菊まつり開催に合わせて月曜日も開館しています。

大正十二年（一九二二）九月一日に起った関東大震災は、東京など首都圏が大惨事となった地震として認識している人も多いと思いますが、実は静岡県東部にも大きな被害をもたらし、死者行方不明者計四四三人、建物全壊・全流失計二九五九軒を数えます。三島市域（当時は三島町・北上村・錦田村・中郷村）でも四名の人が亡くなっています。

この時大きな被害を受けた地域のひとつである大場地区には、当時の様子を詳細に記録した「震災関係書類綴」が大切に保管されています。記録によると、その日は朝からの悪天候が九時頃には回復し、すっかり秋晴となった同日午前十一時五十八分、突然「物凄キ地響キト共ニ」強震が襲い、その後も余震が断続的に続きました。大場では「殆ど一軒トシテ満足ナル建物ヲ見ザル」ほどの大惨事となり、わずか十三歳と二歳の二人が犠牲となりました。その夜は消防組と義勇警察隊が火災と盗難の警備にあたり、避難所がまだ設置されていなかったため住民は各自避難して不安な一夜を過ごしました。翌二日には大場神社、大場駅など五か所に板囲いの応急避難所が設けられ、三日には県によつて大場に「半永久的な」臨時避難所が建設されることになりました。この頃から復旧作業も本格化し、四日には大工・左官・瓦職人・とび職などの職人を役場が雇い入れ、復旧作業を行うことになりました。またこの頃から、東京方面など他地域の情報が次第に伝わるようになり、被害の様相のみならず流言飛語の類も伝わったのか、火災・盗難の警戒に加えて「不逞鮮人ノ取締」を行うことが決議されています。何者かを捕らえた記述は書かれておらず、七日後の十一日夜をもって取締は「一時休止」となりました。九月十日頃から寄付で集まった

救援物資や義援金の分配についての記録が登場し、借入方法など復興資金面の記録が多くなっています。次第に記録の頻度が上がり、翌年二月八日を最後に「震災記録」は終わっています。関東大震災のような首都圏直下型地震は、近い将来高い確率で起こると想定されています。昭和五年（一九三〇）の北伊豆震災では、関東大震災後の耐震補強が被害を軽減した例が確認されています。今回の企画展が、皆さんが家庭の防災を今一度見直さきっかけになれば幸いです。



▲関東大震災東海道三島町の惨状（関守敏氏所蔵）

ぼくのおじいちゃん

当番 すぎやま りょうすけ さん

ぼくのおじいちゃん、4人の孫に優しく接してくれ、いろいろな事を教えてくれます。そんなおじいちゃん、高校で数学の先生をしました。たくさんの生徒に数学を教えていたなんて、すごいと思います。ぼくは算数が苦手です。でも、おじいちゃんは、6年生の難しい算数でも分かりやすく教えてくれます。ぼくもおじいちゃんのように算数が得意になるようにがんばります。こんなおじいちゃんがぼくは大好きです。いつまでも元気で長生きして欲しいです。



杓山 徹 (73才)
杓山 諒丞 (南小6年)